



島根大学広報誌 広報しまだい

# Shimadai

2014.1 vol.19



## 島根は 世界の最先端

【学長スペシャル対談】

映画監督

錦織 良成さん

特集 ■ 古代出雲文化フォーラムIIプレイベント  
講演者鼎談  
「たたら」をめぐるロマン



# 島根は、世界の最先端

ゲストは、今年三月開催の「古代出雲文化フォーラムⅡ」に出演される映画監督・錦織良成さん。  
「たたら」へのいざない〜」に出演される映画監督・錦織良成さん。  
古代出雲文化のことから現代の島根県が抱える問題まで、郷土愛あふれる対談となりました。

## 島根県だから残る日本の魅力を「映画」という形で世界に発信したい

**学長** 監督の作品には、島根県を舞台にしたものが多数ありますね。なぜ島根で映画を撮り続けていくんですか。  
**錦織** 島根県はとにかく歴史と伝統の深さがすごいので、他の

場所と撮影するのでは意味合いが違う。私にとって本場に特別な場所なんです。もちろん、純粋にわが故郷を応援したいという意味もあります。ただ、観光客を増やすために映画を撮影する、という商業的な感覚は正直ないですね。

**学長** まずは映画の内容ありき。名画の舞台を見てみたいというので、結果的に観光客が増えるのであれば、それはそれで素晴らしいことですね。  
**錦織** 「故郷はこんなにすごいところなんだ」と思って撮り始めた映画を、今度は「世界に持っていきたい」と思って日本全国を回りました。すると驚くことに、あちこちで「出雲」を感じることが多いんですよ。例えば、東京の神田明神には、出雲ではおなじみの「大国主命（オオクニヌシノミコト）」と「少彦名命（スナヒコナノミコト）」が祭られていました。



学長  
スペシャル対談

撮影協力/HOTEL 武志山荘

島根県出雲市出身  
映画監督

# 錦織良成さん×小林祥泰

NISHIKORI YOSHINARI

島根大学 学長

KOBAYASHI SHOTAI

錦織良成さん(右) / 1962年生まれ、島根県出雲市出身。島根県立平田高等学校時代から演劇や脚本に興味を持ち、97年、自身の脚本による「BUGS」で映画監督デビュー。地元・島根県を舞台に「白い船(02年)」「うん、何?(08年)」「RAILWAYS、49歳で電車の運転士になった男の物語(10年)」の島根三部作を撮影。また、隠岐諸島を舞台に家族の絆、日本の心を描いた「渾身(13年)」は、モントリオール世界映画祭の正式招待作品となり、日本のローカルをグローバル化するスタートとなった。

## 2014.1 vol.19 Shimadai

島根大学広報誌  
広報しまだい

- 学長スペシャル対談  
島根県出雲市出身 映画監督 錦織良成さん ..... 1
- 古代出雲文化フォーラムⅡ プレイベント  
「たたら」をめぐるロマン ..... 5

- しまだイトピックス ..... 15
- 第7回ホームカミングデーを開催 ..... 17
- 学生プレス研究会 / 海を越えた島大生 ..... 19
- サークル紹介 ..... 21  
女子バレーボール部 / シュールカメラート管弦楽団
- 島根スサノオマジック紹介・  
島根大学支援基金寄附者一覧・プレゼント ..... 22
- 島根大学の研究・地域貢献事業紹介
- ①法文学部 田坂 晶准教授 ..... 9
- ②教育学部 鶴永 陽子准教授 ..... 11
- ③総合理工学部 波場 直之教授 ..... 13

## たたらに見る、優れた文化の数々 出雲の古代文化は、まさに「日本の原点」

**錦織** また、博多の祇園山笠に行つた際には、追い山のスタート前に「八雲立つ 出雲八重垣 妻ごみに」と、スサノオの詠んだ和歌が披露され、出雲の神である祇園神様(スサノオ)に捧げる神事だとの説明があり、とても驚いたと同時に誇らしい気持ちになりました。

**学長** 出雲は日本のルーツなんだと改めて実感できるエピソード

ですね。ところで、現在準備中の次回作は、古来の製鉄技法である「たたら製鉄」や日本刀などを題材にしているとか。

**錦織** 次回作のタイトルですが、「たたら侍-TATARAI-SAMURAI」といいます。映画で描こうとしているのは400年前の時代設定で、この時代にたたら製法をしていたのは、間違いなく中国地方だけな



「島根の水のきれいさ、空気きれいさは、日本の中でも群を抜いている」と語る錦織監督。歴史、文化、自然など、島根の話題はつきません。



「島根の水のきれいさ、空気きれいさは、日本の中でも群を抜いている」と語る錦織監督。歴史、文化、自然など、島根の話題はつきません。

## 島根から日本、そして世界へ 昔も今も、島根は日本の、そして世界の最先端

**学長** 島根県といえば、高齢化の話題がよく上がりますが、監督はどのようにお考えですか？

**錦織** ここで暮らしている人は

気付いていないかもしれませんが、実は島根は日本の最先端だと思うんです。なぜなら島根県が抱える高齢化による過疎化や少子化などの問題は、50年後に東京のような大都市でも確実に起こってくる。島根県はそのような問題を日本で一番早く体験しているわけです。

**学長** つまり、高齢化社会にお

ける問題をいかに乗り越えていくか、という最先端モデルが島根県というわけです。

**錦織** 中央から地域に向かって

「早く地域活性化を進めるように」という趣旨の発言をよく聞くように思いますが、東京に行くとか出雲の良さがよく分かる。コミュニティにしる、水や空気、食べ物にしる、島根県の方が俄然、発達しているように感じます。

**学長** 教育にも同じことが言えるのではないのでしょうか。本学の一番の強みは、古代からの素晴

んだそうです。つまり、この地域でしかできないことがたくさんあるということ。まさに今、島根大学の諸先生方にお世話になりながら、いろいろ調べているところです。

**学長** 出雲では紀元前200年頃から鉄を使っていたことが分かっていますが、たたらになつたのは4〜500年前と言われていますね。鉄の文化は中央アジアやインドから伝わってきたけど、他の場所では採れない質のいい砂鉄がこの一帯にあつたので、日本刀の玉鋼ができたようです。また髭剃り用のカミソリの刃は、実は島根の砂鉄を用いた玉鋼からできているんですよ。

**錦織** たたら製法を続けているのは、単に伝統を守るためかと思つていたのですが、実はたたらがなくなると、日本刀が創れなくなるそうです。つまり、そのくらい上等な鉄は、他では作れない。大学で研究して、性質の違いや数式なども分かっているにもかかわらず、最新鋭の溶鉱炉で作つたところで、同じように再現はできないそうです。たたらはまさに「現役」なんですね。

らしい文化・歴史のある地のど真ん中にあるということ。いくら中央の大学が頑張つても、地元の大学でなくては体感できないことがいっぱいあると思うんです。

**錦織** そういう意味で、真の教育は島根県のような恵まれた環境のあるところじゃないとできないのかもしれないですね。ここには、人間として学ぶべき大切なことがたくさんあるような気がします。個人的には、島根大学の学生にはほとんど起業して「田舎をきちんとビジネスにする」実験をしてほしいですね。

**学長** 本学ではベンチャー企業の起業を積極的に支援しているんです。国は高い技術を持つ

**学長** どんなに機械が進歩しても、結局最後は人間の「勘」。最先端は古代を追い越してはいない、という事実をきちんと知っておかないといけないですね。温故知新とはよく言ったもので、これから新しいものを創る時のヒントがいっぱいあるはずですよ。

**錦織** こういう事実を、島根県民ですら知らないのではないのでしょうか。だから私は「たたら侍」という映画を創ることにしたんです。たたらや出雲古代文化の素晴らしさを、映画を通して世界の人たちに発信したい。そして「一体これは何なんだ！」と思わせることから、現代の出雲も知ってもらいたい。

**学長** これぞまさに「映画から世界に発信」ということですね。

**錦織** それにしても、たたら例を見ても、現代に生きる我々の発信はまだまだ足りないのだなと思ひ知らされますね。自分たちは随分進歩した、と思ひ込んでいたけど、古代出雲文化の奥深さと比べたら、実際のところどうなんだろう、と考えさせられてしまいます。

人材の育成を求めています。本学がめざしているのは、自らイノベーションを起こせる人材の育成です。

**錦織** 「しまね映画塾」を始めて10周年を迎えましたが、「技術にとらわれず思いを込めた作品を撮るように」と伝えると、皆途端に上がりが良くなります。やはり、技術も大切ですが「こうしたい！」という強い想いが大事なんだと思います。将来、島根大学に映像コースができれば、ぜひ学生たちと一緒に、映画を通して日本のこころを世界に発信していきたいですね。

**学長** これからの本学と、これからの島根県が楽しみです。



小林祥泰 / 1946年生まれ、出雲市出身。慶應義塾大学医学部卒業後、島根医科大学医学部教授、島根大学医学部附属病院院長などを経て、2012年4月より島根大学長に就任。専門は神経内科学。